



宮司の柴田 第五十七号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 二月 二日

◇宮司の柴田です。

今年の冬の寒さは格別であります。 昨年は、白衣の下のシャツは、期間限定で、長袖に腕を通しました。 数え年五十歳の身には、期間限定が耐え切れず、フルタイムで、しかも、上下とも長袖という「フル装備」で御奉仕申し上げています。 風邪をこじらせて、大切な神明奉仕に支障をきたしてはいけませんし、やはり、健康が第一であります。 何事も、「心掛け」というのが大切ですし、家族の気遣(きづか)いにもこたえなければなりませんよね。

「うたたねに 叱り手のなき 寒さかな」という、小林一茶(こばやし いっさ)の俳句が残されていますが、「そんなところで寝ていたら風邪を引くよ」と声を掛けてくれる人のいない寂しさを詠んでいるんですね。 「もう、やせ我慢しないで、長袖にしなさいよ。 もう、五十歳でしょ。」という、叱り手である妻の言葉に、「フル装備」で御奉仕している昨今です。

◇ 二月は、別名如月(きさらぎ)といいますが、私のように寒いから厚着をする、衣を重ねるからではありません。 「キヌサラギ」「キ

クサハリジキ」、春となり、禽獣(きんじゅう)と読み、動物の事です)や植物の命が新たに芽生える意味です。 大変厳しい時代ではありますが、誰にでも分け隔てなく朝は必ず訪れ、朝日が差し込み、春がやってきます。 きつと成功する、成就する事をイメージし、その夢が叶うよう、澄み切った心で感謝を捧げ、御加護を仰ぎながら、朗報を待つ、そのような敬神生活を心がけたいものですね。

◇吉田兼好の書いた「徒然草」の第五百十段に、

「季節は定まれる序(ついで)あり 死期(しご)は序(ついで)を待たず」とあり、第百三十七段には、「若きにもよらず強きにもよらず思ひ懸(か)けぬは死期(しご)なり」とあります。 季節は、正確で確実な順序で移ろいます。 春が来て桜の花が咲いて、その花びらを散らし、やがて新緑となり、そして色づき さらには、その色づいた葉も落とすのです。

しかし、春が訪れば、また、花を咲かせる事ができるのですが、人の命は、一世限りでしか、正確な順序に従っているわけではありませんね。 老いたる人、若い人にかかわらず

訪れるのが、まさに、「思い懸けぬ、思いもよらぬ」一世であります。 今、日本は、「多死社会(たししゃかい)」に突入しました。 昨年、百万人以上の方が、尊い命を失われました。 一日に、三千人から四千人の命が失われていると考えられています。 少子化高齢化が、世界最速で進んでいる我が国は、今から二十九年先まで高齢者が増え続けるそうであります。

◇先月は、美祢市の社会復帰促進センターの教诲(きょうかい)活動が、三回にも及びました。 美祢市は、御承知のとおり、積雪のあるところ

です。 思い切つて、「スタトツレス タイヤ」に交換しました。 出費がかさみますが、やはり、「思い懸けぬ」という事にならないように心掛けたわけです。

◇徒然草の第九十三段には、「されば人 死を憎まば 生を愛すべし 存命の喜び 日々に樂しまざらんや」とあります。 人にとつての最高の宝は、財産でも名声でも地位でもなく、死というものが、免れることの出来ないものである事を日々自覚して、生きて今ある事を樂しむ事だけだと、生きて行く事を前向きに勵ましています。 「メメント モリ」、ラテン語で「死を忘れるな」という意味ですが、死を忘れずに生活をする、これが、存命の喜びで、生きて今ある事を樂しむという事なのですね。 数え年の五十歳となった私は、平均寿命からしたら、

私の余命（よめい）は、これまで生きてきた時間より、確実に短くなります。この余命という言葉は、一生の終りに近づいている命の事です。すよね。何か寂しさや陰気な感じがします。宮司プレス五十号にも詳しく書きましたが、作家の藤本義一さんのエッセイに、「余命」ではなく、与えられた命の『与命（よめい）』にしたかどうか」と書かれていて、目から鱗（うろこ）です。人は、誰しも命を与えられているのです。ですから、その与えられている限られた命の中で、生かされて活き活きと生きる、だから、「生活」なのでしょう。死を忘れずに、生きて今ある事を楽しむ事が、存命の喜びで、まさしく、「与生」なのではないでしょうか。春という象形文字は、桑の芽が伸びきった形をしています。二月四日は、「一陽来復（いちようらいふく）」で、立春です。春という象形文字にあやかり、「命いっぱい」伸び切った、存命の喜びを分かち合いたいものです。

◇一月の祭典行事報告

▼歳旦祭

*本宮 一月一日 午前八時半

*福浦金刀比羅宮 *一月一日午前0時半

*田の首八幡宮 *一月一日午前一時

*貴布禰神社（老町）*一月一日午前六時半

▼元始祭

*一月三日

▼会社安全祈願祭（事始祭）参拝*一月四日～五日

▼福浦金刀比羅宮初月次祭 *一月十日

▼六連島八幡宮歳旦祭 *一月十一日

※歳旦祭終了後、島内の戸別祓い（約四十軒）

▼どんど焼き *一月十六日

▼節分祭花道の設営 *一月十七日

◎（株）新原工業様の御好意で、設営作業を毎年奉納されています（上の写真）

▼防災訓練 *一月二十二日（下の写真）



▼大歳神社参道に外灯設置 *一月二十五日

（上の写真）

▼うっすらと雪化粧の境内 *一月三十一日

（下の写真）



◇二月の行事予定

▼月次祭 *二月一日、十五日

▼節分祭 *二月三日

▼横浜ベイスターズファンの集いの会参拝 *二月五日

▼紀元祭 *二月十一日

▼祈年祭

▽本宮 *二月十七日

▽六連島八幡宮 *二月二十五日

▽田の首八幡宮 *二月二十七日

▼朝粥会 *二月二十一日

▼先々代宮司（十九代）命日祭*二月二十七日

◇二月の宮司の行事会議等（報告含む）

▼当宮関係団体

◇神道会世話人会 *二月二十五日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇山口県神社庁例祭、役員会会議 *二月十三日～十四日

◇下関支部三役会 *二月七日

◇下関支部幹事会 *二月九日

▼カモンFMに生出演 *二月七日

▼西ロータリークラブ

◇例会 二月九日、二十三日

◇RCC地区大会 *二月十三日

◇R I I M *二月二十日

▼講演研修

*二月二十三日、内日神社

▼その他

◇南高PTA常任委員会*二月十二日

◇迫町自治会役員会 *二月十八日